

# 研修報告

## 「議会改革」は身近なもの



北海道町村議会議長会主催の議員研修会が6月27日、札幌市で開催され、9名の議員が参加しました。研修会では、鳥取県知事や総務大臣を務め、現在は慶應義塾大学教授である片山善博氏が「議会改革に期待する」と題して講演。「おかしいと思ったことを変える。現場の声を聞くことが大事。」であり、議会改革は当たり前で身近なものであることを力説していました。

また、政治アナリストの伊藤淳夫氏が「今後の政局・政治と展望」と題して講演。参議院議員選挙では、「安倍政権は好調であり、ねじれの解消は可能。」と予測。

結果は、政府・与党が勝利し安定した政権運営が望まれます。

## 渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修

渡島西部四町議会議員連絡協議会の視察研修が、7月17日から19日までの3日間の日程で行われ、当町からは、東出副議長、佐藤議員、平野議員の3名が参加しました。

余市町では、中央水産試験場を視察し、ヒラメやニシンの人工種苗の放流事業や磯焼けに対する研究が行われており、特にニシン漁の復活に期待がされています。

また、当別町では、少子化対策についての具体的な取り組み状況について研修しました。

当別町は、札幌市に隣接していますが、過去10年間で2,000人以上の人口減少となっています。「当別町少子化対策戦略プラン」を策定し、町内外のかたにアンケート調査を実施。

乳幼児を持つ家庭へのゴミ袋の無償化やお誕生のお祝い、空き家バンク制度など、少子化や移住・定住対策が実践されています。木古内町においても少子高齢化、人口減対策の専門部開設や具体的施策が望まれます。



中央水産試験場でヒラメの生体を視察する参加者

## 北限のヒノキを守る取り組み

### 道南林活議連現地研修会

道南森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会の現地研修会が7月18日、上ノ国町で開催され吉田会長ほか4名が参加しました。

上ノ国ダム周辺のヒノキ群落について現地研修。「自生分布としては北限であるヒノキアスナロやブナの群落が広がり、ダム建設工事では伐採を最小限に留めた。」という説明がありました。



上ノ国ダムで残された北限のブナ林などを見上げる参加者

## 交通ネットワーク確立を要望

### 北海道町村議会議長会

北海道町村議会議長会の総会が6月5日、札幌市で開催されました。渡島議長会を代表して、当町の岩館議長が、「北海道新幹線開業に伴う交通ネットワークの確立」について議題を提出。

並行在来線への財政支援や松前半島道路の早期整備促進等について要望し、渡島議長会を含む14議長会から提出された議題は、満場一致で採択されました。



提案説明する岩館議長